

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

団 体 名	特定非営利活動法人 クリエイティブライフデザイン
アドレス（HP、ツイッター、FB等）	HP: http://npocld.com Facebook: www.facebook.com/onecld/
事業の名称	身近なアートコミュニケーター養成講座とアートワークショップ展開事業
事業の目標	■2028年（通算5年）までに100名の身近なアートコミュニケーターを育成する。 ■多様な個性を尊重し“つながり”、“集う”コトを大切に“みんな違ってみんな良い”世界観で 地域福祉や地共生社会（地域振興）に貢献していく。
事業の内容（概要） いつ、どこで、誰に、何を、どうした	■<u>上期</u>・春期「身近なアートコミュニケーター」養成講座（4月から6月） ・アートワークショップ展開事業（対象別の企画を実施した） ・アール・ブリュット（Art Brut）2024事業（企画業務） ■<u>下期</u>・秋期「身近なアートコミュニケーター」養成講座（9月から11月） ・アール・ブリュット（Art Brut）2024事業（企画から実施運営） ・アートワークショップ展開事業（地域活動紹介とSAV実践講座など）。
事業の成果（参加人数、実施回数、質など具体的に記入。）	■<u>通期・「身近なアートコミュニケーター」養成講座</u> 春期14名、秋期10名の通期合計で 24名（R4年からの累計 32名）の受講生 春期：①2024/4/20、②4/27、③5/18、④6/1、⑤6/15の5日間 秋期：①9/29、②10/19、③10/27、④11/15、⑤11/30、⑥12/6、⑦12/9の7日間 <u>通期の効果</u>：共感力の醸成、洞察力の向上、正解の無い問いに答える力、語彙力の向上等 <u>今後の期待</u>：「社会的処方」、「文化的処方」の担い手としてのAC活動に理解 ■<u>アートワークショップ展開事業（対象別、地域活動紹介とSAV実践講座）</u> ①2024/4/13_難波創太氏と行く横浜ビエンナーレで SAV_参加者合計 10名 ②2024/6/23_幼児・児童対象のワークショップ_17名+保護者20名、合計 37名 ③2025/2/16_<触覚によるアイズブレイク&SAV>_吉祥寺西友のカフェにて 5名 ④2/21(17)、3/6(7)、3/18(9) <u>合計 33名</u> SAVスタイルWSと地域活動の実際をきく会 ⑤2/25(12)、3/13(12) <u>合計 22名</u> SAV(ナビは石井健介氏)と地域活動の実際をきく会 ■<u>アール・ブリュット（Art Brut）2024事業（企画から実施運営）</u> ①2024/12/7_1回目アール・ブリュットにてブラインド・パーソンスタイル SAV 6名 ②2024/12/7_2回目アール・ブリュットにてデフ・パーソンスタイル SAV 6名 ③2024/12/8_アール・ブリュットにてブラインド・コミュニケーター石井健介氏と SAV 11名 ④2024/12/9_アール・ブリュットにて全盲のアートナビゲーター難波創太氏と SAV 12名 <u>活動の効果</u>：武蔵野アール・ブリュット委員会に選出され、7つのワークショップを企画した <u>ワークショップ参加者合計</u>：35名／期間中の来場者は約800名
目標の達成度 （自己評価）	☒ 1. 達成できた ☐ 3. あまり達成できなかった ☐ 2. ある程度達成できた ☐ 4. 達成できなかった

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート

自己評価の理由 ※公益性の増進、団体の発展性、実効性、補助金を除く資金調達の達成度などについて、具体的に記入。	■ 公益性の増進：社会的包摂のソリューション「社会的処方」として SAV の意義が見出された。参加者累計 155 名／イベント回数の累計 24 回（昨年度より 9 回増） ■ 団体の発展性：アートコミュニケーター参加により新様式の SAV や新しい企画（身近な AC 養成講座、地域活動見学会、武蔵野アール・ブリュット）に挑戦【継続】ができた。 ■ 実効性：秋期の身近な AC 養成講座に屋外での実習機会を設けて 7 回講座を企画・実施した。また武蔵野アール・ブリュットでは 4 つの SAV を企画・プロデュースを実施した。 ■ 補助金を除く資金調達の達成度：資金調達達成度は 5 割程度の見込。		
今後の課題・豊富	■ 今後の課題：実践と学びから、「社会的処方」、「学習指導要領」に取り上げられ、全国的に広がっている「対話による絵画鑑賞」が武蔵野・三鷹では未だ、教育や福祉そしてビジネス分野で展開されていない。したがって普及展開をすすめる担い手となる「身近なアートコミュニケーター」養成講座（カリキュラム）研究と組織編成を図っていく（今年度で累計 32 名）。 ■ 抱負：2028 年迄に「身近なアートコミュニケーター」養成目標 100 人とする（今年度目標 18 名、累計 50 名を目指す、春期・秋期の講座開設を準備中）。その他 VTS、SAV のアートコミュニケーション事業、新開発のアートワークショップを企画・実施する。		
活動状況について			
■ 総括：協力者も増えて、過去最高の 24 回開催することが出来、通期で 2 回の身近なアートコミュニケーター養成講座を開催できた。また武蔵野アール・ブリュット 2024 にて 4 回のソーシャルアートビューで新しい出会いができた。			
			
↑ 春期“身近なAC”講座	↑ 秋期“身近なAC”講座	↑ 幼児・児童とのアートWS	↑ “地域活動報告会”パンフ
			
↑ 春期“身近なAC”講座	↑ 秋期“身近なAC”講座	↑ 幼児・児童とのアートWS	↑ 地域活動報告会とSAV
			
↑ 難波さんといく横浜トリ	↑ 触覚トレーニングとSAV	↑ 子供WSでの作品写真	↑ アール・ブリュットにてSAV

令和6年度 武蔵野市特定非営利活動法人補助金交付事業報告シート